

# HEART NEWS

2022年1月 1日発行

Vol. 52

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



一体何の写真だと思われるでしょうか？兵庫県立姫路循環器病センターの川合宏哉先生が会長を務められた第132回日本循環器学会近畿地方会の舞台裏です。今回の地方会はコロナ禍の影響で12月11日に全面WEBで開催されました。所用ありグランフロント大阪・ナレッジキャピタルに出向き、制御室の写真の撮ることができました。多くのセッションをコントロールするWEBスタッフが一室にずらっと並び、まるで報道ステーションのようでした。対面ではありませんでしたが素晴らしい会でした。

旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、コロナで始まり、コロナで終わった1年でした。重症コロナ感染症の第5波もようやく収束の兆しが見えてきました。まだ第6波到来など予断を許さない状態ですが、徐々に先生方と対面でお話することも可能になってきています。本年こそ、重症コロナ感染症が収束して、一日も早く地域医療機関の先生方と対面参加ならではの活発な質疑応答ができる日を楽しみにしています。

今回のハートニュースは、循環器内科からは、左室駆出率が低下している心不全（HFrEF）に対する新しい薬物療法について、心臓血管外科からは、ロボット支援下手術のご紹介についての報告です。

本年も、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、どのような心血管疾患に対しても最先端の循環器医療を提供できるように、なお一層努力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) も是非閲覧ください。

大阪市立総合医療センター 循環器センター長  
循環器内科部長

成子 隆彦

# 左室駆出率が低下している心不全（HFrEF）に対する

## 新しい薬物療法

循環器内科 松村 嘉起

左室駆出率（LVEF）が低下している心不全（Heart failure with reduced ejection fraction: HFrEF）は一般的にはLVEFが40%未満の心不全を指します。これまで、HFrEFの予後改善効果を期待する薬剤としては、ACE阻害薬またはアンジオテンシン受容体拮抗薬（ARB）、β遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の3系統の薬剤がありましたが、近年新しい薬剤が登場しています。いずれの薬剤も基本的には標準的な治療（上記の3系統の薬剤など）を受けているHFrEFの症例が適応になります。詳細な適応や用法、用量などの注意事項に関しては添付文書等の使用上の注意をご確認下さい。

	一般名(商品名)	本邦の承認	特徴・適応・注意点
アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)	サクビトリルバルサルタン(エンレスト錠)	2020年6月	ナトリウム利尿ペプチド系を賦活化させるサクビトリルとARBの合剤。降圧効果や利尿効果も期待できる。低血圧の症例への導入には注意が必要。ACE阻害薬/ARBから変更する。高血圧症にも適応がある。
SGLT2阻害薬	ダパグリフロジン(フォシーガ錠)	2020年11月	以前から糖尿病薬として使用されている。利尿効果がある。尿に糖を排泄するので、痩せの症例や尿路感染症に注意が必要。ダパグリフロジンは慢性腎臓病にも適応がある。
	エンパグリフロジン(ジャディアンス錠)	2021年11月	
HCN4チャネル阻害薬	イブラジン(コラン錠)	2019年9月	洞結節に作用し心拍数を減少させ、心負荷を軽減する効果がある。洞調律かつ安静時心拍数75bpm以上の症例が適応となる。心房細動例には適応なし。
可溶性グアニル酸シクラーゼ(sGC)刺激薬	ベルイシグアト(ベリキューボ錠)	2021年6月	NO-sGC-cGMP経路を賦活化することで心保護効果が期待される。血圧の低下に注意が必要。血圧によって容量を調節する。

## 循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
			田村(ペースメーカー)		
午後	阿部	松村			成子
	占野(ペースメーカー)				林

### 地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林(不整脈)
午後		齋藤(末梢動脈)	占野(不整脈)	仲川(肥大型心筋症)	松本(TAVI)



# 心臓血管外科:ロボット支援下手術のご紹介

1901年、ドイツのドレスデンで、ある外科医が動物の腹(腹腔)に空気を送り込み、得られた空間に「腹腔鏡」と名付けた管を差し込んだ。臓器が観察できた。約90年後、CCDカメラの開発・応用により、「腹腔鏡手術」は発展した。そして現在、3Dカメラによる立体画像を見ながら、ロボットで手術をする時代が到来した。

当院では**通算1200症例**を超えました。心臓血管外科領域では、**弁形成術**や**冠動脈バイパス術**においてロボット手術を行っています。



執刀医は遠隔で手術を行います

ダヴィンチ使用可能診療科  
(2020年1月)

泌尿器科  
婦人科  
心臓血管外科  
呼吸器外科  
消化器外科

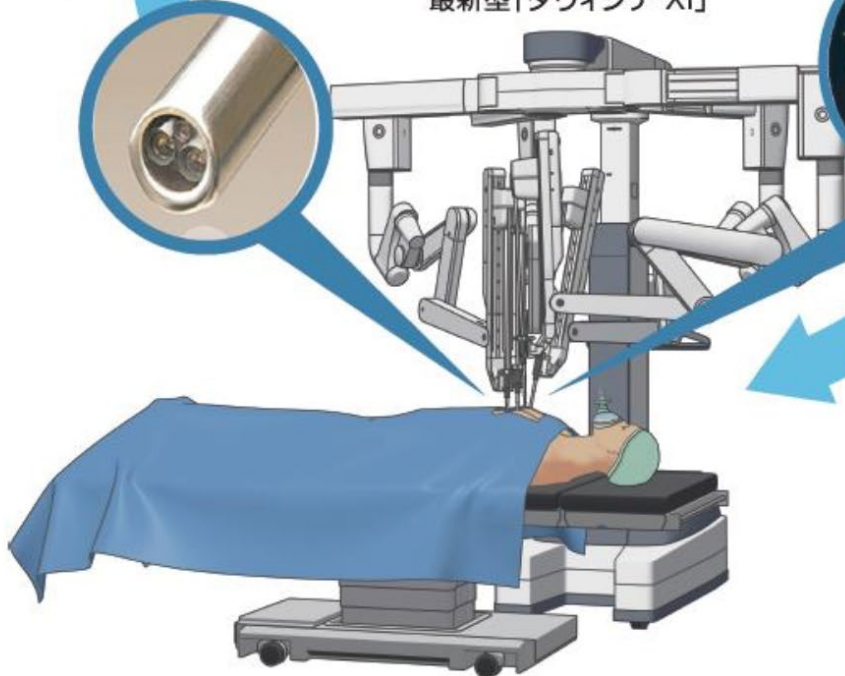
執刀医の繊細の動きを  
ダヴィンチの鉗子に伝えます



ダヴィンチの3Dカメラを通して極めて良好な視野で精密な操作が行えます

低侵襲な手術を可能にする  
最新型「ダヴィンチ XI」

執刀医の動きに連動するだけでなく、手振れ防止機能も備えています



部長 村上貴志

## 心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	【下肢静脈瘤外来】 青山	尾藤
午後	青山	【ロボット手術外来】 村上	阪口		尾藤

# 今号の循環器日記

## 循環器内科 副部長 阿部幸雄



上段は、表紙と同じ第132回日本循環器学会近畿地方会における『専攻医から専門医への心エコー図Up-Grade』セッションでの一幕です。ライブデモンストレーションを事前収録して配信することになりましたが、非常に楽しく勉強になる会になったと自負しております。姫路循環器病センター・大西哲存先生のご企画で、桜橋渡辺病院・大西俊成先生と私が講師を務めました。当院の森下技師もライブ・デモンストレーション講師として、吉井医師と岡田医師も生徒役として、それぞれ活躍いたしました。下段は、TAVIのメーカーとエコー機メーカーのタイアップで開催された大動脈弁狭窄症に関するウェビナー収録的一幕です。東京ベイ浦安市川医療センター・渡辺弘之先生とともに進行役を務めました。コロナ禍は嫌なことばかりですので、災い転じて．．．などとは決して言いたくないですが、その影響で学会や講演のWEB開催のノウハウが進んだのも事実だと思います。これからは基本『対面』である一方で、遠方だったり忙しかったりで本来ならば参加できない方もWEBで参加できるといったいわゆるハイブリッド開催が主流の時代になっていくと思います。

当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は御面倒ですが 06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。